

紙袋デザイン

◎はじめに

紙袋デザインを木曾町役場の観光課の職員に依頼されて、デザインを考えることになりました。デザイン案は木曾町の「21 コーポレーション」の高島さんに添削してもらい木曾の良さを伝えるデザインになりました。紙袋デザインをするのは二人でしたが、二人で一つの作品を作るのではなく、一人一作品作りました。ですので、Aさん案とBさん案の二部構成でボードを作りました。なお、初期案は決定案とは全くの別物ですので、中間発表後のデザインから決定案のデザインまでの作成過程を載せます。

◎それぞれの作成過程

〈Aさん 作成過程〉

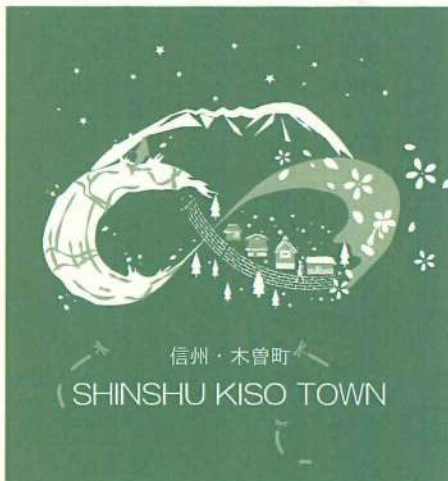
中間発表後のデザインのコセプト：循環「季節、時間、川」

この紙袋を見た人がもう一度木曾に来たいと思ってもらえるようなデザインにする。

中間発表後のデザインのコメント：循環のエンドレスマークが曖昧なので存在感を出す。山は御岳山に変更。観光促進を意識し、古い街並みをつけ、女の子を歩かせる。



決定案で改善したところ：山を御岳山に変更、全体的に躍動感をつけた、町並みと女の子を追加。



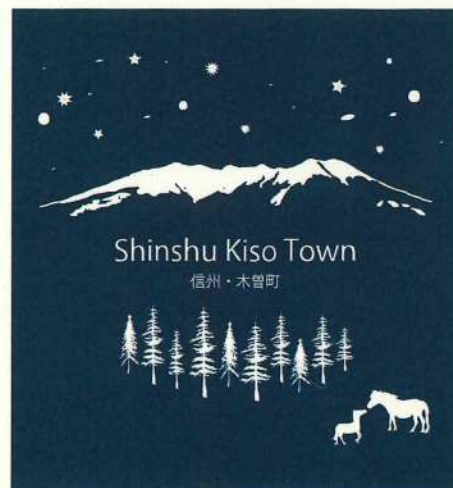
〈Bさん 作成過程〉

中間発表後のデザインのコセプト：木曾五木の葉を使って木曾らしさを伝える。

中間発表後のデザインのコメント：全体的にさみしい、地球のようで、ロゴマークに見えてしまう。暗いイメージがある。



決定案で改善したところ：御岳山の雪のかかった場所を分かりやすいよう、山の部分は曲線で表現した、林は一つ一つ葉の形が異なる手書きの木を作った。星は大小バラバラにして散りばめた。



◎まとめ

- ・デザインを考えてそれを第三者に見せる時に、自分の伝えたいことをしっかり伝えなければいけないので、どうすれば的確に伝えることができるのか先生と話し合いながら考えました。
- ・初期のデザインはフリー素材をそのまま使ってコラージュのようになっていましたが、そこを高島さんに指摘され自分たちで一からデザインの素材を作っていました。
- ・今回紙袋のデザインをやってみて、木曾町の綺麗な景色の見られる場所やおいしい物など、良いところをたくさん知ることができました。
- ・デザインを良くしていく過程で、高島さんに厳しいことを言われたりしましたが、最終的に両者満足のいく作品が完成して良かったです。

「アームバックのデザイン」

2022 年度 長野県木曾青峰高等学校 インテリア科

平井 美羽 丸山 彩心

1. はじめに

令和1年度から始まった21インコーポレーション水源水事業部から依頼を受けペットボトルのラベルデザインを令和3年度まで行いました。

令和4年度は木曾町の観光パンフレットなどを入れる袋のデザインを木曾町の観光課から依頼を受けてデザインを行いました。デザインのアドバイスなどは令和1年度からお世話になっている21インコーポレーションのデザイナーの方々に見ていただき進めてきました。

2. 研究の目的

木曾町の地域活性化に協力するため。併せて、観光客にもう一度木曾に来てほしいと思ってもらう。

3. 研究内容

『平井 美羽 紙袋デザイン』

統一するコンセプト

- ・木曾町らしさを伝えられるデザイン。
- ・季節感を感じてもらえるデザイン。
- ・紙袋を見てもう一度木曾に行きたくくなるような木曾を連想させるデザイン。

デザイン案1

コンセプト

野原を駆ける木曾馬の親子



デザイン案1に対するコメント

- ・円の縁取りで何を表現したいのか
- ・それらは木曾らしいのか
- ・木曾はどんなところだと感じてほしいのか

デザイン案2

コンセプト

- ・循環「季節、時間の流れ、川の流れ」
- ・木曾の自然の豊かさを表現「川、山、桜」



デザイン案2に対するコメント

- ・循環のエンドレスマークが曖昧なので存在感を出す。
- ・山は御岳山に変更。
- ・観光促進を意識し、古い町並みを付け加える
- ・「KISOMACHI SANPO」は文字でなく女の子が歩いているイラストにする。

決定案



改善した部分

- ・山を御岳山に変更
- ・中心にいたトンボを下に移動させた。
- ・魚の数を減らして川に躍動感を付けた。
- ・古い町並みとそこを歩いている女の子を追加。
- ・山に降っていた雪を結晶の形にして町並みに降らせた。
- ・御岳山は雪の代わりに星。
- ・広がりを感じてもらうため桜と水しぶきを外に出した。

コンセプト

木曾の自然は美しく春は桜、夏は川と魚、星空、秋はとんぼ、冬は古い町並みに降る雪と木曾のシンボルでもある「御嶽山」を大きく入れて広大な自然を表現しました。木曾はどの季節に来ても良いところが見ることができるとメッセージを込めました。遠くから見ると川と町並みが繋がりエンドレスマークになっているのが特徴です。季節を循環しているイメージをデザインしました。

こだわったと

- ・桜、川、魚、星、とんぼ、雪と季節ごとに要素を取り入れました。
- ・星と雪の違いがわかるように降る雪に結晶を入れました。
- ・木曾の季節を循環しているエンドレスマーク。
- ・木曾の古い町並み。
- ・全体のデザインになじむように御嶽山は抽象化しました。
- ・アームバックのデザインの色は木曾は木々に囲まれており、木々の色が綺麗なので緑にしました。

『丸山 彩心 紙袋デザイン』

統一するコンセプト

- ・木曽らしいところを伝えられるデザインにすること。
- ・木曽の豊かな自然を感じさせるデザインにすること。
- ・木曽には素晴らしい景色があるんだと、実際に来て見てみたいと思ってもらえるようなデザインにすること。

デザイン案1

コンセプト

- ・木曽の五平餅、赤カブ、朴葉巻きや、木曽馬、木曽義仲などの有名な食べ物や人物などをシルエットにする。
- ・「この地域はこれ！」と思う有名な食べ物や人物をシルエット化しデザインを各ブロックごと枠で囲み各デザインを強調した。
- ・木曽川は曲線で表現し水の流れを描く。



信州・木曽町
SHINSHU KISO TOWN



デザイン案1に対するコメント

- ・川の模様は何のためにあるのか、必要なのか。
- ・9面にした意味はあるのか、必要なのか。・何を伝えたいのか。
- ・文字は何を伝えたいのか。
- ・全てに意図を意識して。

デザイン案2

コンセプト

- ・御嶽山の形を立体的に線で描く。
- ・針葉樹の木を大小中央に置く。
- ・木曽五木で囲む。



デザイン案2に対するコメント

- ・全体的にさみしい。
- ・もっとデザイン性のある葉に変更してもよい。

- ・全体が少し暗い感じがする。
- 地球のロゴマークのように見えてしまう。

決定案



改善した部分

- ・御嶽山の雪がかかった場所が分かりやすいよう、山の部分は曲線で表現する。
- ・林は一つ一つ葉の形が異なる手書きの木を使う。
- ・星は、大小バラバラに散りばめる。

コンセプト

木曽は自然が豊かで年間を通じて楽しめる場所なので、自然の広大を表現しました。御嶽山は木曽の中でも春夏秋冬と綺麗な姿を見せられます。御嶽山の広大さを表現するために抽象的に表現するのではなく、忠実に表現しました。また、夜になると大小様々な星が綺麗に見えるので様々な星を散りばめました。木曽は自然と共に暮らしているというメッセージを木曽馬の親子がじゃれあっている姿で表現しました。

こだわったと

- ・開田高原は夜空に浮かぶ星も綺麗なことで有名なので、夜空をイメージするのにバックは紺色にしました。
- ・夜になると星がくっきりと鮮やかに見ることができるよう、大小様々な星をちりばめました。
- ・木曽は木曽馬でも有名なので、木曽馬が親子でじゃれあっている場面を想定して表現しました。
- ・木曽のシンボルでもある御嶽山を忠実に再現しました。
- ・木曽は木々に囲まれており、その中でも針葉樹が多いので一本一本違う形にしてみました。
- ・御嶽山は忠実に再現しました。

4. 考察・まとめ

今回、木曽町役場からアームバックのデザインの依頼を受け一から考えて形にしていく作業はとても大変でした。

アームバックは木曽に観光に来てくれた多くの方々に使用されるので、自己満足にならないように気を付けながら制作をしていきました。アームバックを使いまた木曽に来たくなるようなデザインになるように心掛け制作しました。

デザインが完成した時は達成感があり、いい作品ができてよかったです。